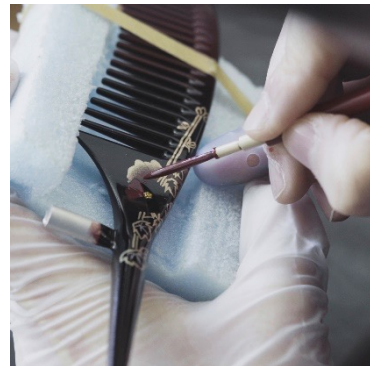


ふくしまみらいチャレンジプロジェクト

2021年9月10日(金)～2022年2月28日(月) monova 新宿ショールームにて展示販売会開催

地域に根づいて、未来へつながっていく取り組みを応援

2011年の東日本大震災・原子力災害などの影響で、福島県では今もなお復興に向けた取り組みが必要とされています。

「ふくしまみらいチャレンジプロジェクト」は、地域を思い果敢に挑戦する事業者や地域の皆様とともに、一過性のものではなく、将来的に地域に定着する産業の創出を目指して立ち上がったプロジェクトです。

このプロジェクトを通じて、地域の将来につながる唯一無二の逸品を全国に発信しています。そしてより多くの方々に発信した県産品の魅力に触れていただくことで、安定した経営・販路拡大につながる「ファン」づくりを目指しています。

出会いの場を増やすため、大都市圏を中心とした全国各地の百貨店・駅ビル等商業施設内での販売イベントなどが行われています。

東京都心での出会いの場として、2021年9月10日から2022年2月28日まで、「monova」新宿ショールームにて商品展示及び販売をいたします。福島の技術を結集した「くし」や、アウトドアで活躍する頑丈な「バッグ」、江戸時代からの伝統技術をモダンにアレンジした「陶器」など、新たな出会いをお楽しみください。

ふくしまみらいチャレンジプロジェクト

【プロジェクト対象者】

福島県浜通り地域等12市町村
田村市、南相馬市、川俣町、広野町、楡葉町、富岡町
大熊町、双葉町、浪江町、川内村、葛尾村、飯舘村

【プロジェクト紹介ページ】

<https://fukushima-challenge.go.jp/>



【monova 展示事業者(ブランド)】

- ・キャニオンワークス(CWF)
- ・サンプライト
- ・サンコーエンジニア
- ・ハートオブワン
- ・小高ワーカーズベース(iriser)
- ・金泉ニット(FEIL)
- ・齋脩絹織物
- ・齋藤産業
- ・KOSHINOMICHIKO
- ・あさか野窯
- ・京月窯
- ・陶徳窯
- ・半谷窯
- ...他

Japan creation space

mo
no
va

【第2回】「青森の手作りを楽しむ、こぎん刺しマーケット」開催！

【主催・会場】monova / 【会期】2021/12/9(木)~12/21(火)



新作・こぎん刺し用麻布もご紹介

前回、こぎん刺しファンの方を中心に大変好評いただいた「こぎん刺しマーケット」。この冬には第2弾を開催いたします。会場では、本場青森から届くこぎん刺しの糸や生地、アクセサリなどの作品をご覧いただけます。その他にも、青森を代表する伝統工芸品「津軽塗」のアイテムも。豊かな色味や風合い、丁寧に作られた作品の魅力を、ぜひ実際にお手にとりてご覧ください。

今回は、津軽工房社の新作麻布もご紹介いたします。深みのある「Tsugaru」と、爽やかな色合いの「帯巾 kinari*asagi」。こちらもお見逃しなく。

開催日時: 2021/12/9(木)~12/21(火) / 10:30~18:30(水曜定休)
開催場所: monova内 特設会場
入場料: 無料 / どなたでもお楽しみいただけます。
所在地: 東京都新宿区西新宿3-7-1
リビングデザインセンターOZONE 4階
申込み・問合せ: (Mail) info@monova-web.jp / (Tel) 03-6279-0688

【大人気・日本各地で作られたこだわりの道具もご紹介】

monovaでは、手作りの道具のブランド「Cohana(東京)」と「hiro(石川)」をご紹介します。日本各地の職人技とブランドの個性が光る、デザイン・使い心地に優れた各アイテムもぜひご覧ください。



Cohana 「木箱入り待針 貝釦の帯留め」

価格: ¥3,080(税込)
サイズ:(待針全長)35mm
(桜の木箱)W38×H18×D53mm

日本橋を創業の地とする老舗手芸道具メーカー、株式会社 KAWAGUCHIが手がけるハンドメイドの道具ブランド「Cohana」。日本全国各地域に根付く産業や工芸の技術を取り入れ、素材・使い心地・見た目のすべてにこだわった、上質な道具を提案しています。

こちらの待ち針のセットは、2021年夏に販売を開始しました。2色・30本入りのガラスの待針は、針の産地広島県でつくられています。頭が小さいので使い勝手がよく、布通りもなめらかです。待針を収める木箱は、職人技による精巧な作り。奈良県の地場産業、配置薬の木製薬箱を製造する会社ダイワ産業さんが丁寧に製作しています。箱を留める帯には、お花の形の貝釦をつけました。真珠貝の「黒蝶貝」を使用した、つややかな光沢が魅力です。

hiro 「小さなお針箱」

価格:(漆シリーズ)¥3,520(税込) / (彫刻シリーズ)¥3,080(税込)
サイズ:(桐箱)W60×H24×D30mm

金沢の地で、縫製業を営み始めて80年余。株式会社 ヒロは長年縫製に携わってきたノウハウを活かし、地元石川県の伝統的工芸品と連携して手芸道具ブランド「hiro」を展開しています。

持ち運びに便利な「小さなお針箱」には、4つの道具がセットになっています。能登二越ちりめんの梅型の針山、針上の溝に糸をかけて押すだけで簡単に糸が通るワンタッチ針、全長45mmの日本最小のステンレス製和ばさみ、糸巻き2色(白・黒)。桐箱のデザインは2種類あり、漆シリーズは石川の伝統工芸の山中塗で仕上げた「朱」と「黒」の2色。彫刻シリーズは、レーザー彫刻で仕上げた「麻の葉模様」と「青海波模様」の2パターンから選べます。



hiro

<お問合せ>

Japan creation space monova

担当: 岩下

tel: 03-6279-0688 (10:30-18:30水曜定休) / mail: info@monova-web.jp / WEB: <https://www.monova-web.jp>

2019年10月OPEN monova2号店

monova白山通り店 おかげさまで2周年を迎えました

2周年のご挨拶

monovaの2号店として、2019年に文京区の住宅街、白山通り沿いに小さなお店をオープンして、おかげさまで2年が経ちました。2011年よりオープンしたmonovaは、西新宿の高層ビルのなかにもあり、そのことはショールームとしての機能を果たすには充分だと思っ一方で、これとは異なる狭い地域内での情報の発信方法があるのではないかと考えて生まれたのがこの「monova白山通り店」です。そもそも実験的な挑戦でもあるショップ。自分でお店を作ってみると掲げて、店内の壁のペンキを塗ったり、什器のデザインもしたり、当初は現金払い無し、カード払いのみでスタートしました。さらにオーナーである私一人が基本体制のため、平日は休みで土日だけオープンとなり、(その土日も休むことがある)、かなりわがままで自分勝手な運営ですが、これが2年続けてこられたのは、ありがたいことです。ただ、コロナ禍と丸々被るような期間になってしまい、まだまだやりたいことが出来ていません。今後は、コロナの感染拡大の収束を祈るとともに、ここならではの新たな発信もしていきたいと思ひます。

時間をより豊かに楽しんでもらえるような地域の風景になるお店を目指して、これからも続けていきたいと思ひます。

店主 杉原広宣

【monova白山通り店】

所在地：〒112-0001 東京都文京区白山4-37-25
最寄り駅：都営三田線「千石」駅もしくは「白山」駅
連絡先：tel. 03-6884-6081

営業時間：11:00~17:00

営業日：土曜・日曜

最寄り駅：都営三田線「千石」駅もしくは「白山」駅

* 営業日・営業時間詳細はSNSでご紹介しております。

【Instagram】



【Facebook】



<お問合せ>

Japan creation space monova

担当：岩下

tel：03-6279-0688 (10:30-18:30水曜定休) / mail：info@monova-web.jp / WEB：<https://www.monova-web.jp>